

11月8日

町民と観光客に美留和の魅力を 山本光一さんの常設写真展を開設

写真を提供した山本さん(右)と
前田局長(左)



美留和郵便局(前田航太局長)は、11月8日から山本光一さんによる常設写真展「シマエナガの郷」をロビーに開設しました。

美留和地区在住の山本さんはシマエナガの伝道師として知られ、同地区に、町外からシマエナガを撮影しに来ることも多いことから「シマエナガの郷」として、美留和の魅力を町民や観光客に知ってほしいという思いで写真展を開設。また開設にあたり同郵便局では、山本さんの作品からトレース、デザインしたシマエナガのスタンプも作成しました。

色とりどりの作品



押し花サークル野の花は町民6人が在籍し、毎年同局で作品展を開催。作品をよく見てみると、細かいところまで花や葉を使用し、色彩豊かな展示作品17点のほかに赤い羽根募金をするともらえるコースターやおしりも置いてありました。

11月1日～11月30日

押し花サークル野の花による 押し花作品展を開催

押し花サークル野の花(武田ゆかり代表)が11月1日～11月30日、押し花作品展を弟子屈郵便局(藤原将男局長)ロビーで開催されました。

押し花サークル野の花は町民6人が在籍し、毎年同局で作品展を開催。作品をよく見てみると、細かいところまで花や葉を使用し、色彩豊かな展示作品17点のほかに赤い羽根募金をするともらえるコースターやおしりも置いてありました。

11月9日

今年最後のイベント 1年間の成果をお披露目

川湯ダンスクラブのメンバー



川湯ダンスクラブ(丸山奈織子代表)が、11月9日に川湯中学校体育館で今年最後のイベント、お披露目会を開催しました。

この日は、川湯ダンスクラブに所属する17人の子どもたちが、今年1年間のイベントに出演した際のダンス全7曲を披露。保護者や関係者、地域の方など多くの観客が集まり、力強いダンスに見入っていました。

贈呈式に出席した菅さま



日本道路建設業協会(西田義則会長)は11月9日、道の駅「摩周温泉」に簡易設置型授乳室を寄贈しました。同協会は、国土交通省が道の駅に子育て応援施設を整備する方針に協力しようと、授乳室の寄贈を始めました。2023年から3年間で全国150駅に贈る計画で、今年寄贈する50駅のうち、摩周温泉が道内で第1号となりました。

贈呈式に出席した地域おこし協力隊の生永さんは「赤ちゃんが生まれて初の旅行は、温泉が多い。町内の親子が住みやすい町になるきっかけとなり、温泉旅行に行くなら弟子屈になれば」と話していました。

11月9日

道内第1号 道の駅「摩周温泉」に授乳室を寄贈

日本道路建設業協会(西田義則会長)は11月9日、道の駅「摩周温泉」に簡易設置型授乳室を寄贈しました。同協会は、国土交通省が道の駅に子育て応援施設を整備する方針に協力しようと、授乳室の寄贈を始めました。2023年から3年間で全国150駅に贈る計画で、今年寄贈する50駅のうち、摩周温泉が道内で第1号となりました。

贈呈式に出席した地域おこし協力隊の生永さんは「赤ちゃんが生まれて初の旅行は、温泉が多い。町内の親子が住みやすい町になるきっかけとなり、温泉旅行に行くなら弟子屈になれば」と話していました。

11月13日

多様な消防活動へ 最新型の消防車が導入

運用式に参加された皆さま



弟子屈消防署に導入された水槽付消防ポンプ自動車の運用開始式が11月13日、弟子屈消防署で行われました。水槽付消防ポンプ自動車は、2,000Lの水槽や救助用資機材を搭載し、災害発生時に消火・救助・救出といった多様な消防活動に加え、緊急消防援助隊登録車両として、大規模災害などが発生した被災地から要請を受けた場合も出動もします。

徳永組合長は「本車両は火災や交通事故など人命救助を支える重要な設備。本車両の機能を有効に活用いただき地域の安全・安心も確保するために尽力願う」と話していました。

ご夫婦(中央)と目録を手にする千代さん



10月から新たに就農した千代修さん・千恵子さんご夫婦の弟子屈町新規就農者準備金贈呈式が11月10日、町役場で行われました。贈呈式には、徳永町長、町農業委員会江上会長、摩周湖農業協同組合望月専務、釧路農業改良普及センター齋藤所長が出席。おふたりには町と摩周湖農業協同組合から準備金として100万円が目録が贈られました。

また、江上会長、望月専務、齋藤所長が立会いの下で家族経営協定の調印式が同日に行われました。

11月10日

新しい就農者を激励 新規就農者準備金贈呈式を開催

10月から新たに就農した千代修さん・千恵子さんご夫婦の弟子屈町新規就農者準備金贈呈式が11月10日、町役場で行われました。贈呈式には、徳永町長、町農業委員会江上会長、摩周湖農業協同組合望月専務、釧路農業改良普及センター齋藤所長が出席。おふたりには町と摩周湖農業協同組合から準備金として100万円が目録が贈られました。

また、江上会長、望月専務、齋藤所長が立会いの下で家族経営協定の調印式が同日に行われました。

10月11日～31日

消防署・警察署・郵便局が連携 秋の火災予防運動と特殊詐欺防止啓発活動を実施

マグネットシートを持つ
藤原局長(左)と池田署長(右)



弟子屈郵便局(藤原将男局長)は、10月11日から20日まで、弟子屈警察署(小松孝浩署長)と弟子屈地区防犯協会連合会(田中富十男会長)と協力し、特殊詐欺防止活動を実施。

また、弟子屈町内の郵便局3局(弟子屈・川湯・美留和)では、弟子屈消防署(池田保土署長)と協力し、10月15日から31日まで、火災予防の啓発活動を行いました。

町内全域にわたり集配業務をしている集配車にマグネットシートを貼ることで「走る広告塔」として、より多くの町民に向けて啓発活動を実施することができました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。

※7つの政策課政策調整係 ☎482-2913 (調整室)

10月23日

清掃活動に感謝 JR北海道から感謝状を贈呈

感謝状を受け取った美小の児童たち



JR北海道(綿貫泰之社長)は、10月23日に美留和小学校(佐藤義行校長)の児童が長年にわたり美留和駅舎の清掃活動を行ったことに対し感謝状を贈呈しました。

この感謝状は、駅の美化活動を長年行い、各地域の駅長さんが推薦した中から選ばれるもので美留和駅の清掃活動は、学校の伝統行事にもなっており駅舎内の掃除や窓ガラス拭きを行ってきました。

綿貫社長は「地域や観光に来た方が気持ちよく駅を使えるよう清掃にいただけていることに感謝している」と話していました。

丁寧に収穫する児童



10月16日

町産ワインの原料 ブドウ収穫体験

町産ワインの原料であるブドウ「山幸」の収穫体験が10月16日、屈斜路のブドウ畑で行われました。

ブドウの収穫は毎年実施しており、秋の風物詩として徳永町長や摩周湖農協役員、和琴小学校(大山道弘校長)の児童8人などが参加し、一房一房丁寧に収穫していました。

今年は、暑い日が多く例年よりも2度ほど糖度が高くなりました。収穫したブドウは、十勝管内池田町で「葡色の旦」や三笠市で「テシカ」の赤ワインに使用されます。

10月27日

人命救助に感謝 釧路北部消防事務組合が感謝状を贈呈

感謝状を受け取った国分さん(左)と藤原さん(右)



水難事故の人命救助に貢献したとして10月27日、釧路北部消防事務組合高田勝也消防長からカヌーガイドの藤原仁さんと国分知貴さんに感謝状が贈られました。

藤原さんと国分さんの2人が、8月12日に釧路川で発生した水難事故において、カヌーから転覆した親子を発見し人命救助に貢献しました。

高田消防署長は「当時は、火災などが重なり、人員に余裕がないときに迅速に対応してくれた。今後とも協力をお願いしたい」と話していました。

予約された作品の数々



10月23日～11月10日

枯れ木や流木を使って 木工作品展を開催

町内在住の石橋和美さんの木工作品展が10月23日～11月10日まで、弟子屈郵便局(藤原将男局長)ロビーで開催されました。

作品には、石橋さんの庭で永年あったオンコの枝や河川などで散乱している流木を利用した作品がたくさん展示されていました。毎年展示後には、作品を希望者に譲渡しており、町民だけでなく町外の方から予約があるほど人気の作品となっています。